

(5) 甲 信 越



甲信越地域では、景気は足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。
- ・ 個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)

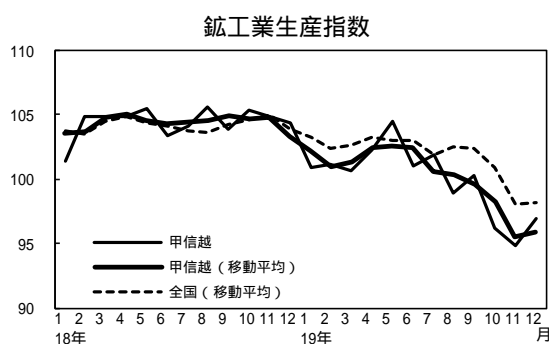
前回からの主要変更点

	前回(令和元年11月)	今回(令和2年3月)	
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱さがみられる	
個人消費	持ち直し	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は弱含んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響もみられる。

10 - 12月期には、「電子デバ、電気・情報通信」は、減少した。「汎・生産・業務用機械」は、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、減少した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値、甲信越の最新月は速報値。
 2. 全国及び甲信越の太線は中心3か月移動平均。
 直近月は2か月平均。
 3. 甲信越は内閣府にて算出。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7 - 9 月期	10 - 12 月期	10月	11月	12月
電子デバ、電気・情報通信	28.9	3.5	3.5	5.0	0.9	1.6
汎・生産・業務用機械	24.8	1.6	6.4	4.5	6.8	12.0
食料品・たばこ	12.0	0.1		1.6	0.1	
石油・石炭、化学、プラ製品	10.3	2.6	2.0	1.6	0.3	1.0
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.8	1.5	4.6	4.3	1.2	1.3
鉱工業	100.0	2.2	4.4	4.1	1.5	2.2

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 10 - 12月期、12月は速報値。速報値において、化学は医薬品を除いたもの、食料品・たばこは公表されていない。

2. 個人消費の動向

個人消費は足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱めの動きがみられる。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10月は前月比6.9%減、11月は同2.8%増、12月は同0.2%減となった。

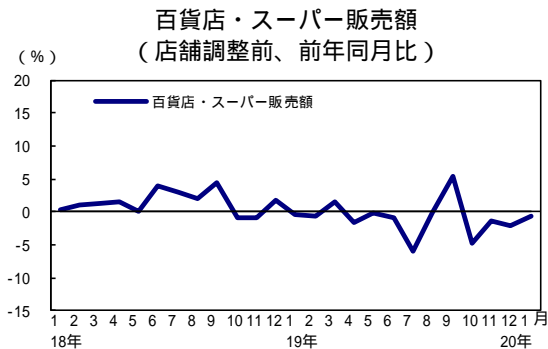
(2) 百貨店・スーパー販売額

10月は、衣料品、日用品などが低調であったことなどから、前年を下回った。

11月は、食料品は堅調に推移したものの、衣料品が低調であったため、前年を下回った。

12月は、衣料品が低調であったことなどから、前年を下回った。

1月は、前年を下回った。



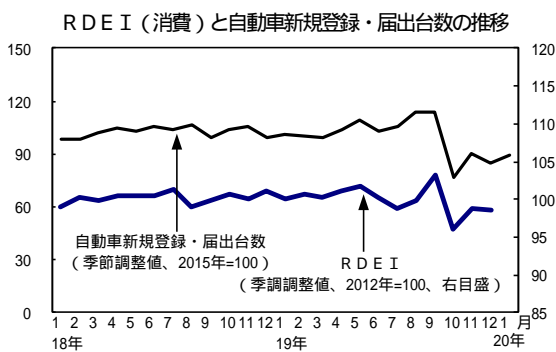
	2019年 10-12月	2019年 10月	11月	12月	2020年 1月
RDEI (消費*1)	2.8	6.9	2.8	0.2	
百貨店・スーパー(*2)	2.7	4.8	1.4	2.1	0.7
乗用車(*3)	18.2	25.6	15.1	13.2	11.6
(季節調整値)(*3)	24.3	32.5	17.8	6.0	4.9

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。2020年1月は速報値。

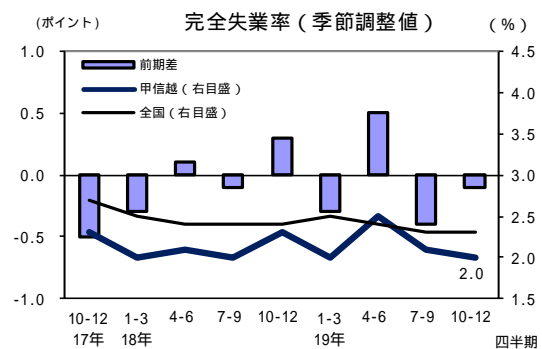
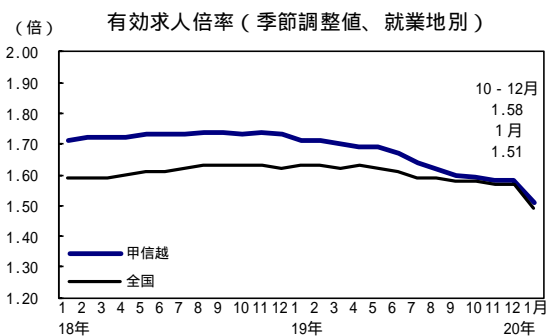
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。



(備考) 内閣府にて算出、季節調整。

(13) 景気ウォッチャー調査 (2020年2月調査) 景気判断理由の概要

5. 甲信越

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

		分野	判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連			・新型コロナウイルスの影響により、消費マインドは冷え込んでいる(スーパー)。
			×	・2月は天皇誕生日で祝日も増えて、来客が増えるはずだったが、新型コロナウイルスの影響で、海外からの客が減っている。また、高齢者を中心に、団体客のキャンセルが続いている(観光型旅館)。
				・新型コロナウイルスなどの影響で、世界経済の先行きは不透明である(家電量販店)。
	企業 動向 関連			・新型コロナウイルスの影響がどの程度となるか、期間を含め、見通せない状況である(一般機械器具製造業)。
			×	・新型コロナウイルスの影響で、人の動きが激減し、来場者数、売上共に、大幅に減少している(食品製造業)。
	雇用 関連			・製造業を中心に、求人が激減している。また、下請企業が元請からの発注減で、前年度より企業整備が増えてきている(職業安定所)。
			・現状、求人募集をしている企業に変わりはないが、積極的に募集広告を掲載する企業は減少している。医療、介護、飲食業の募集は多い(求人情報誌製作会社)。	
その他の特徴 コメント				：消費税増税に伴う支出抑制や、令和元年東日本台風被害による影響、暖冬によるスキー客の減少、さらに新型コロナウイルスによる製造業のサプライチェーン、観光需要の減少が、景気を下押ししている(金融業)。 ×：新型コロナウイルスの影響で、ツアーキャンセルが相次いでいる(観光名所)。
先行き	家計 動向 関連			・新型コロナウイルスの先が見えず、収束が見えないなか、当店のよう小売業では年配客の来店が減り、業績に大きな影響があるのではないかと。消費税増税の影響も想定より大きく、長い(百貨店)。
			×	・新型コロナウイルスが収まらない限り、外出を控える風潮は収まらず、収まったとしても急激に戻ると思えない(高級レストラン)。
	企業 動向 関連			・新型コロナウイルスの拡大で、先行きの低迷が考えられる。また、機材にも影響が出ており、納期、収益面で支障をきたすのではないかと(電気機械器具製造業)。
			×	・新型コロナウイルスの関係で、イベントが中止になってきている。そのため、印刷物の発注がなくなったり、ストップがかかる状況が続いている。大変厳しい(出版・印刷・同関連産業)。
	雇用 関連			・新型コロナウイルス感染の発症者が県内でも出ている。旅行やイベントの中止など発生しており、経済が回っていないと感じる。今後終息に向かうのかも不明で、景気はより下向きへ振れるのではないかと(新聞販売店[広告])。
				・求人をけん引する製造業において、米中貿易摩擦による受注減少が目立っていたところに、先が見えない新型コロナウイルスの影響から、慎重な社員採用が目立っている(民間職業紹介機関)。
その他の特徴 コメント				：新型車イベントなど販売増を期待する材料はあるものの、新型コロナウイルスの影響が長引くことも予想され、状況の悪化を見込んでいる(乗用車販売店)。 ×：新型コロナウイルス報道の影響に加え、前年の災害からも立ち直り不足である(一般レストラン)。

(D I)

現状・先行き判断D I (甲信越)の推移(季節調整値)

